

[重要] B120g-h ご使用にあたって

この度は、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品をご使用いただくにあたり、一部注意事項があります。誠にお手数ではございますが、以下の内容をご確認の上、ご使用時には記載に基づき、然る対応を行っていただくようお願い申し上げます。また、本書は無くされないよう、大切に保管してください。



* 856-180700-021-03 *

本装置ご使用時の注意事項

● OS による Boot Mode および X2APIC(*)機能の変更について

* X2APIC: CPU の割り込みコントローラ

ご使用される OS により、システム BIOS の Boot Mode メニューおよび X2APIC メニューの設定を適切に変更する必要があります。
下記の表を参考にシステム BIOS の設定変更をお願いいたします。
なお、システム BIOS の設定を変更する方法については、メンテナンスガイドの 2 章 便利な機能 -1 システム BIOS の詳細 に記載しています。

ご使用 OS	システム BIOS の設定	
	Boot Mode	X2APIC
Windows Server 2012 R2 Red Hat Enterprise Linux 7	UEFI	Enabled
VMware ESXi	Legacy	Disabled

※ BTO(工場組込み出荷)でOSプリインストールにてご購入された場合、上記システムBIOSの設定項目を適切に設定し出荷しています。
OS プリインストールにてご購入されていない場合は、「Boot Mode メニュー」と「X2APIC メニュー」は、それぞれ“UEFI”, “Enabled”に設定され出荷されます。
ただし、NESV16-001 ブートモード設定オプション(Legacy Mode)をあわせてご購入された場合は、「Boot Mode メニュー」と「X2APIC メニュー」は、それぞれ“Legacy”, “Disabled”に設定され出荷されます。

● ブレード収納ユニット(SIGMABLADE-M/H v2)ご使用時の注意

本製品の導入にあたり、下記の該当する製品をご利用の場合は、本製品とEMカードとの連携機能強化の為、ファームウェアのアップデートが必要です。EMカードのファームウェアアップデート未実施の場合、CPUブレードが正常に動作しません。

<対象製品>

N8405-019/019A	EMカード (ファームウェアがRev15.xx以前のもの)
N8405-043	EMカード (ファームウェアがRev15.xx以前のもの)

ファームウェアのアップデートは、下記の弊社情報発信サイトよりダウンロードし、お客様にて実施いただく必要があります。
なお、EMカードのファームウェアをアップデートする場合は、当該収納ユニットで既に稼働中のCPUブレードを停止させる必要はありません。

ー アクセス方法 ー 「NECコーポレートサイト(<http://jpn.nec.com/>)」→「サポート・ダウンロード」
「サポート情報」→「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」
「サポート情報 [PCサーバ]」→「検索」→「型番・モデル名から探す」
→ご使用のEMカードの製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施
→「ダウンロード」

製品に関する詳細情報は、弊社情報発信サイトにて公開の各製品のユーザーズガイドを参照してください。

ー アクセス方法 ー 「NECコーポレートサイト(<http://jpn.nec.com/>)」→「サポート・ダウンロード」
「サポート情報」→「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」
「サポート情報 [PCサーバ]」→「検索」→「型番・モデル名から探す」
→ご使用のEMカードの製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施
→「製品マニュアル(ユーザーズガイド)」

ユーザズガイド ご利用時の注意

本製品に添付のEXPRESSBUILDERに格納されているユーザズガイドをご利用される場合、以下の項目について読み替えてご利用ください。

章	節	読替内容
2	1.8.1	<p>1.8.1 RAIDの有効化</p> <p>誤) 内蔵ソリッドステートドライブをRAIDシステムとして使用するには、BIOSセットアップユーティリティから、「Advanced」→「PCI Configuration」→「Onboard SCSI」→「Option ROM Scan」を「Enabled」に設定してください (「メンテナンスガイド」の「2章(1.システムBIOSの詳細)」を参照)。</p> <p>正) 内蔵ソリッドステートドライブをRAIDシステムとして使用するには、BIOSセットアップユーティリティから、「Advanced」→「UEFI Driver Configuration」→「LSI Software RAID Configuration Utility (SATA)」をご使用ください (詳細は「メンテナンスガイド」の「2章(4.RAIDシステムのコンフィグレーション)」を参照)。</p>

メンテナンスガイド ご使用時の注意

本製品に添付のEXPRESSBUILDERに格納されているメンテナンスガイドをご利用される場合、以下の項目について読み替えてご利用ください。

章	節	読替内容
2	1.2.2	<p>(5) Storage Configuration サブメニュー</p> <p>誤) Advancedメニューで[SATA Configuration]を選択して<Enter>キーを押すと、次の画面が表示されます。</p> <p>正) Advancedメニューで[Storage Configuration]を選択して<Enter>キーを押すと、次の画面が表示されます。</p>

ブレード用メザニンカード(タイプ1、タイプ2) ご使用時の注意

CPUブレードにブレード用メザニンカード(タイプ1、タイプ2)を実装している場合、ブレード収納ユニット(SIGMABLADE-M/H v2)のスイッチモジュールスロットに、対応するスイッチモジュールが実装されていないと、ブレード収納ユニットのSIGMABLADEモニターに以下エラーメッセージが表示され、CPUブレードの電源をONにできません。
(SIGMABLADEモニターについては、ブレード収納ユニットおよびEMカードのユーザズガイドをご参照ください。)

エラーメッセージ	意味
SWMn IFmiss Alm	スイッチモジュール#n(n=1～8)インターフェースミスマッチ

該当するスイッチモジュールとCPUブレードのブレード用メザニンカード(タイプ1、タイプ2)との接続関係を確認し、インターフェースを一致させてください。

製品に関する詳細情報は、弊社情報発信サイトにて公開の各製品のユーザズガイドを参照してください。

- ー アクセス方法 ー 「NECコーポレートサイト(<http://jpn.nec.com/>)」→「サポート・ダウンロード」
「サポート情報」→「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」
「サポート情報 [PCサーバ]」→「検索」→「型番・モデル名から探す」
→ご使用の製品型番を入力し、「製品型番で検索」を実施→「製品マニュアル(ユーザズガイド)」

専用ユーティリティが起動できなかった場合は、装置を再起動してPOSTの実行からやりなおしてください。

当該装置の構成およびBootデバイスをご確認のうえ、下記手順にて設定変更をお願いいたします。

4. [Boot Protocol]にカーソルを合わせ、Enter キーを押下して[PXE]から[None]に設定を変更します。

3. Bootに必要な項目以外を『Enabled』から『Disabled』に変更します。

- SETUPユーティリティーにてOption ROM設定をDisabledに変更されても、再起動時に自動的にEnabledに変更されます。

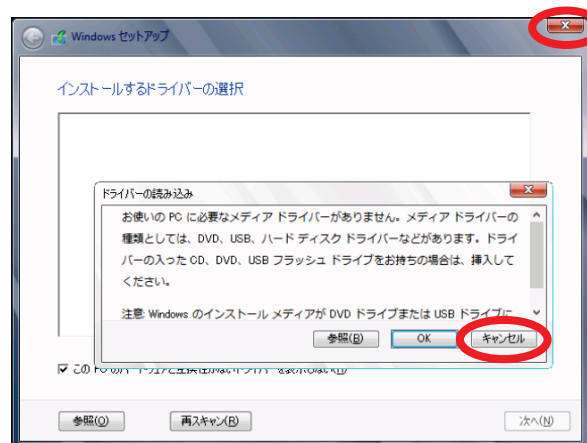
イベントジェネレータ : 10h
イベント内容 : デバイスベ 情報
Rebuild/Remap in progress

OS標準のインストーラを使ったセットアップを行う場合の注意

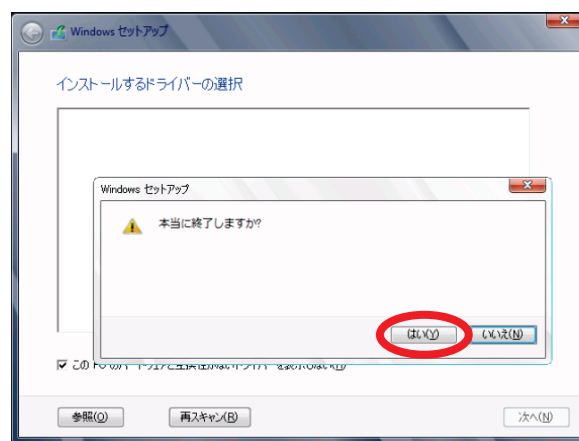
本製品を SIGMABLADE-M(N8405-016B/016C) に実装してご使用になる場合、SIGMABLADE-M に内蔵のDVDドライブを使用してOS標準のインストーラを使ったセットアップをする際に、DVDドライブが認識できなくなった旨の警告が表示されることがあります。その場合、表示画面からいったんインストールをキャンセルし、前の画面に戻した後、SIGMABLADE-M 内蔵のDVDドライブを一旦別のCPUブレードに接続し、再度インストール対象のCPUブレードに選択し直した後に、下記の手順に従ってインストールを続行してください。

なお、リモートメディアの機能を用いてインストールを実施される場合は、本現象は発生しません。

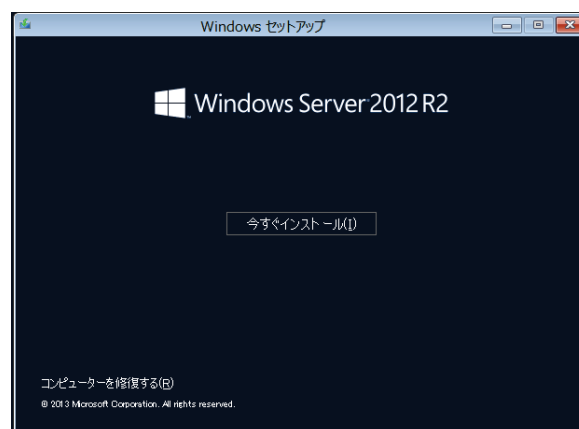
1. DVDドライブのドライバーが無いメッセージが表示された場合、ポップアップウィンドウの「キャンセル」をクリックして、ポップアップウィンドウを閉じた後、“Windowsのインストール” “Windowsセットアップ”ウィンドウの右上の[X]を押してください。



2. インストールをキャンセルするポップアップウィンドウが表示されますので、「はい」をクリックしてください。



3. インストールの最初の画面が表示されます。ここで、SIGMABLADE-Mに内蔵DVDドライブを別のCPUブレードに選択し、再度インストール対象のCPUブレードに選択し直します。



4. その後、通常手順でインストール作業を続行すると、警告メッセージは表示されず、正常にインストール行程が進みます。

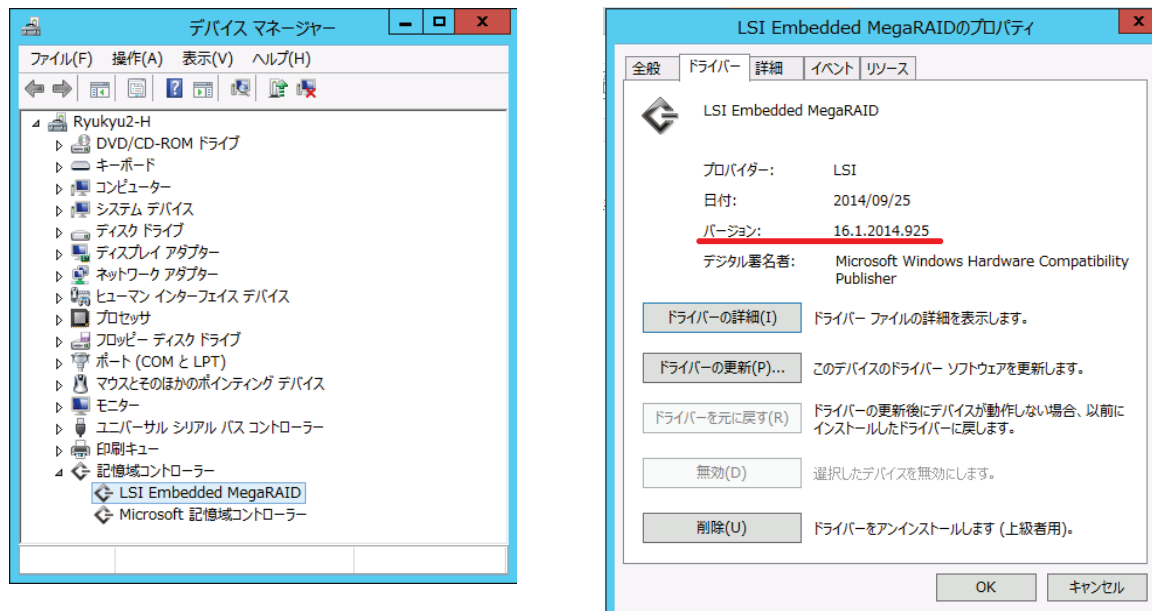
RAID構成時のSSDの寿命残量参照について

本製品に2台のSSDを搭載しRAID構成にてWindows Server 2012 R2をご使用になる場合、RAIDのドライババージョンによっては、SSDの寿命残量の参照ができない場合があります。

SSDの寿命残量参照機能を必要とする場合は、ドライバの更新を実施してください。

1. ドライババージョンの確認方法

[コントロールパネル]→[デバイスマネージャー]を起動し、「記憶域コントローラ」-「LSI Embedded MegaRAID」を選択。右クリックにてプロパティウィンドウを開いた後、「ドライバ」のタブをクリック。バージョン項の表示を確認してください。



ドライババージョン「**16.1.2014.925**」の場合、SSDの寿命残量参照ができません。

(SSDの寿命残量参照を使用しない場合は、ドライバの更新を実施しないでも問題ありません。)

2. ドライバのアップデート

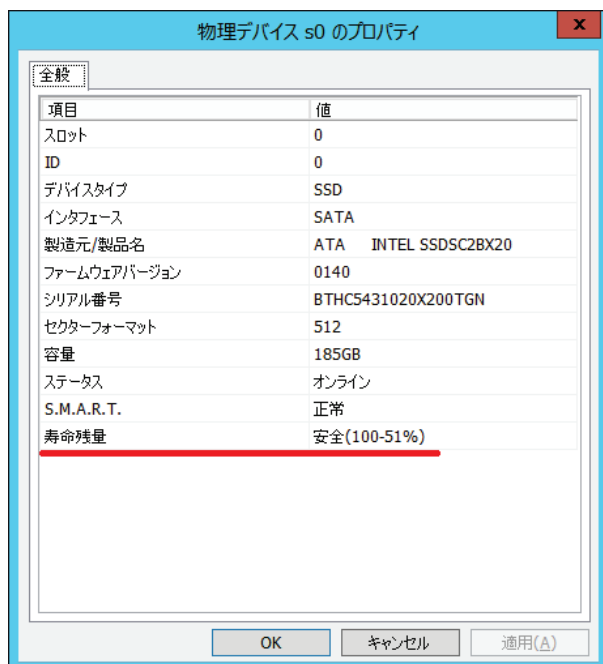
ドライバのアップデートは、下記の弊社情報発信サイトよりダウンロードし、お客様にて実施いただく必要があります。

- アクセス方法 — 「NECコーポレートサイト(<http://jpn.nec.com/>)」→「サポート・ダウンロード」
「ドライバ・ソフトウェア」→「PCサーバ/ブレードサーバ(Express5800シリーズ)」
「ダウンロード」→「SIGMABLADE(ブレードサーバ)」→「ストレージ関連」で表示される
「Express5800/R120g-2E、Express5800/T120g、Express5800/B120g-h用
LSI Embedded MegaRAID ドライバ」をダウンロードする。

3. SSD寿命残量の表示

SSDの寿命残量はUniversal RAID UtilityのRAIDビューア もしくは、コマンド「raidcmd」にて確認できます。

[Universal RAID UtilityのRAIDビューア]



ドライババージョン「**17.1.2016.216**」以降の場合、デバイスのプロパティに「寿命残量」項が表示されます。

[raidcmd]

```
C:\Users\Administrator>raidcmd property -tg=pd -c=1 -p=s0
RAID Controller #1 Physical Device s0
Slot          : 0
ID            : 0
Device Type   : SSD
Interface     : SATA
Vendor/Model  : ATA INTEL SSDSC2BX20
Firmware Version : 0140
Serial Number : BTHC5431020X200TGN
Sector Format  : 512
Capacity      : 185GB
Status        : Online
S.M.A.R.T.    : Normal
Endurance Remaining : Safe (100-51%)
```

ドライババージョン「**17.1.2016.216**」以降の場合、「Endurance Remaining」項が表示されます。

SSDの寿命残量についての詳細はUniversal RAID Utilityのユーザーズガイドを参照してください。

■本書の内容に不明点がありました場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先: ファーストコンタクトセンター
 TEL: 03-3455-5800 (代表)
 受付時間: 9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日を除く)
 ※番号をお間違えにならないようお確かめのうえご連絡ください。

[Important Information]

NEC Express5800/B120g-h

Thank you for selecting an NEC Express5800 series server.

This document contains important information about using your new server. Please read all the information below and observe caution when using the product. Failure to follow the instructions may cause a defect in your system.

Take care to retain this document for future reference.

Precautions for Using

• Change of Boot Mode by the OS and the X2APIC(*) function by the OS

* X2APIC: Interrupt controller of the CPU

It is necessary to change the setting of Boot Mode menu of the system BIOS and the X2APIC menu appropriately depending on the OS to be used. Please make a setting change in the system BIOS referring to the following table. For how to change the system BIOS setting, refer to Chapter 2. Useful Features – 1. System BIOS Details described in the Maintenance Guide.

Use OS	Setting of system BIOS	
	Boot Mode	X2APIC
Windows Server 2012 R2	UEFI	Enabled
VMware ESXi	Legacy	Disabled

※ * If purchased with OS pre-installation as BTO (factory default setting), the setting item of the above system BIOS is appropriately set and shipped.

If not purchased with OS pre-installation, "Boot Mode menu" and the "X2APIC menu" are set as "UEFI" and "Enabled" respectively for shipment.

However, if purchasing together with NESV16-001 boot mode setting option (Legacy Mode), "Boot Mode menu" and the "X2APIC menu" are set as "Legacy" and "Disabled" respectively for shipment.

• Notes on using the Blade Enclosure (SIGMABLADE-M/H v2)

When using the following products with this CPU Blade in a Blade Enclosure (SIGMABLADE-M/H v2), the firmware of the EM card needs to be updated to enhance the linkage function between the EM card and the CPU Blade.

If the firmware of the EM card is not updated, the CPU Blade will not function properly.

See the table below for EM cards that require a firmware update.

Product Code	Firmware revisions that require an update
N8405-019/019A (for SIGMABLADE-M)	Rev 15.xx or earlier
N8405-043 (for SIGMABLADE-H v2)	Rev 15.xx or earlier

For EM card updates, download the firmware from the following site or contact your service representative.

- Web access -

1. Access the NEC Express5800 Server Series download page.
[<http://www.nec.com/global/prod/express/download/index.html>]
2. Select [Server Options] – [Others] – [EM Card [N8405-xxx]].

When updating the EM card firmware, it is not necessary to stop CPU Blades that are operating in the Blade Enclosure.

Notes on using the User's Guide

When using a user's guide, please paraphrase about the following table.

chapter	Section	paraphrased contents
2	1.8.1	<p>1.8.1 Enabling a RAID System</p> <p>Wrong : To set up the installed solid state drives as a RAID system, select Advanced→PCI Configuration→Onboard SCSI→Option ROM Scan to Enabled in BIOS Setup Utility. See Chapter 2 (1. System BIOS) in Maintenance Guide for details.</p> <p>Correct : To set up the installed solid state drives as a RAID system, use the utility at Advanced→UEFI Driver Configuration→LSI Software RAID Configuration Utility (SATA) in BIOS Setup Utility. See Chapter 2 (4. RAID System Configuration) in Maintenance Guide for details.</p>

Notes on using the Maintenance Guide

When using a maintenance guide, please paraphrase about the following table.

chapter	Section	paraphrased contents
2	1.2.2	<p>(5) Storage Configuration Submenu</p> <p>Wrong : On Advanced, choose SATA Configuration and then press <Enter> key to display the menu screen shown below.</p> <p>Correct : On Advanced, choose Storage Configuration and then press <Enter> key to display the menu screen shown below.</p>

Notes on using the Mezzanine Card (Type1 , Type2)

When installed mezzanine card (Type1, Type2) on CPU blade, please be careful about below.

When a right switch module isn't mounted on the switch module slot of blade enclosure, an error message is shown to the SIGMABLADE monitor of blade enclosure.

Error message	Meaning
SWMn IFmiss Alm	Switch module n (n=1-8) interface mismatch

The CPU blade which was mounted on an indicated slot can't power on in that case.

Check connection between the relevant switch module and the CPU blades to make sure the coincidence of interface.

Notes on starting a dedicated utility when POST is running

To start a dedicated utility for the RAID controller and so on when POST is running, do as follows.

1. Make sure that you do not press any key before beginning this work.
2. Press a "Modifier Key" (such as <ctrl> key) first, and hold down the "Modifier Key" and press a "Character key" (such as <M> key) with the "Modifier Key" pressed repeatedly until the dedicated utility starts.

If you have failed to start the dedicated utility, please restart the server and rerun POST to try again.

Notes on using the POST error(B000/B301/B302/B303/B304/B30A/B330)

There is next indication at the time of a start in this product, and it'll be sometimes a POST stop.

POST error(B000/B301/B302/B303/B304/B30A/B330) "Expansion ROM not initialized – xxxxx"

This is because Expansion ROM development territory was exceeded by the construction of the addition option product.

After checking the construction of the equipment concerned and the Boot device, setting change in following procedure, please.

1. About the LAN setting when not using a PXE boot.

1. POST When a message of "Broadcom NetXtreme Ethernet Boot Agent" was indicated on the screen, please press a <Ctrl> + <S> key.
Configuration Menu starts.
2. The physical port set more than Device List is chosen.
3. [MBA Configuration] is chosen from Main Menu.
4. An Enter key is pushed down together with a cursor in [Boot Protocol] and the setting is changed to [None] from [PXE].

2. About change in the Option ROM setting of the device I won't use for Boot.

1. When a power supply of this product is turned on and POST is advanced, the next message is shown to the screen lower left.
Press <F2> SETUP (※ A message sometimes changes with the environment.) a <F2> key is pressed here and a SETUP utility is started.
2. [Advanced] - [PCI Configuration] - [PCI Device Controller and Option ROM Settings] is chosen and a <Enter> key is pressed.
3. All except for the item necessary to Boot is changed to "Disabled" from "Enabled".
4. [Save & Exit] - [Save Changes and Exit] is chosen.

Attention : Even if you change the Option ROM setting to Disabled in a SETUP utility when mounting a FibreChannel controller (N8403-034F) and using the FC switch, when restarting, it's changed to Enabled automatically.

Notes on using the IPMI Log (System Event Log)

Information "Rebuild/Remap in progress" without SSD errors may be recorded in IPMI log (System Event log) during POST(Power on Self Test) in rare cases.

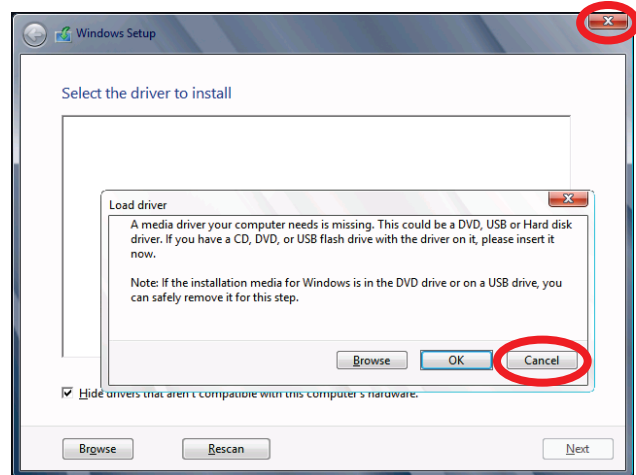
When occurrence of SSD errors are not recorded before the information record, there is no problem.

```
=====
Event Generator      : 10h
Event                : Drive Slot(Bay) Info
                     : Rebuild/Remap in progress
=====
```

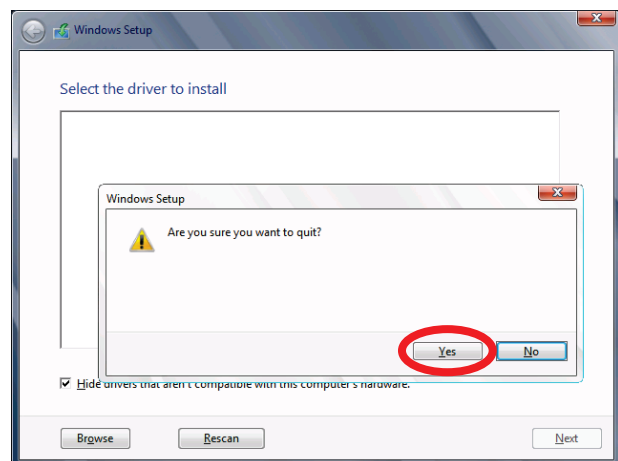
Notes on setup with OS standard installer

When you set up with OS standard installer by using N8405-016BF (the Blade Enclosure) built-in DVD-ROM Drive, there is a possibility that the following warning window that shows a device driver is missing opens. In this case, cancel the installation on the pop-up window to return to the previous window; connect SIGMABLADE-M built-in DVD-ROM Drive to another Blade temporarily; select the built-in DVD-ROM Drive on this Blade, then continue the setup according to the following procedure.

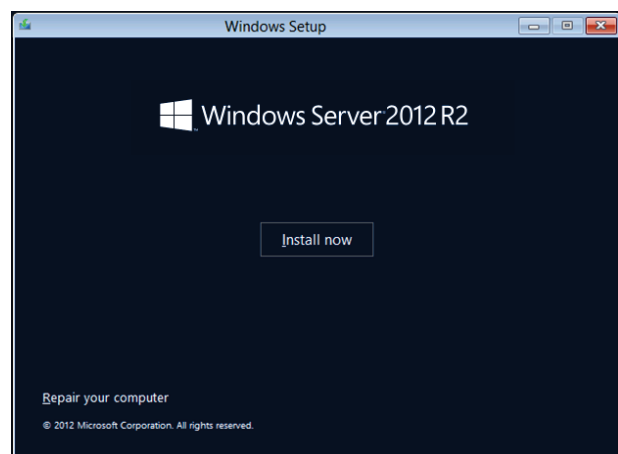
1. Press the "Cancel" button, and press the "x" button at upper right corner of the window.



2. The confirmation pop-up window opens, and then press "Yes" button.



3. The first window of the installation process opens. Disconnect the DVD-ROM Drive and the server, and connect them again.



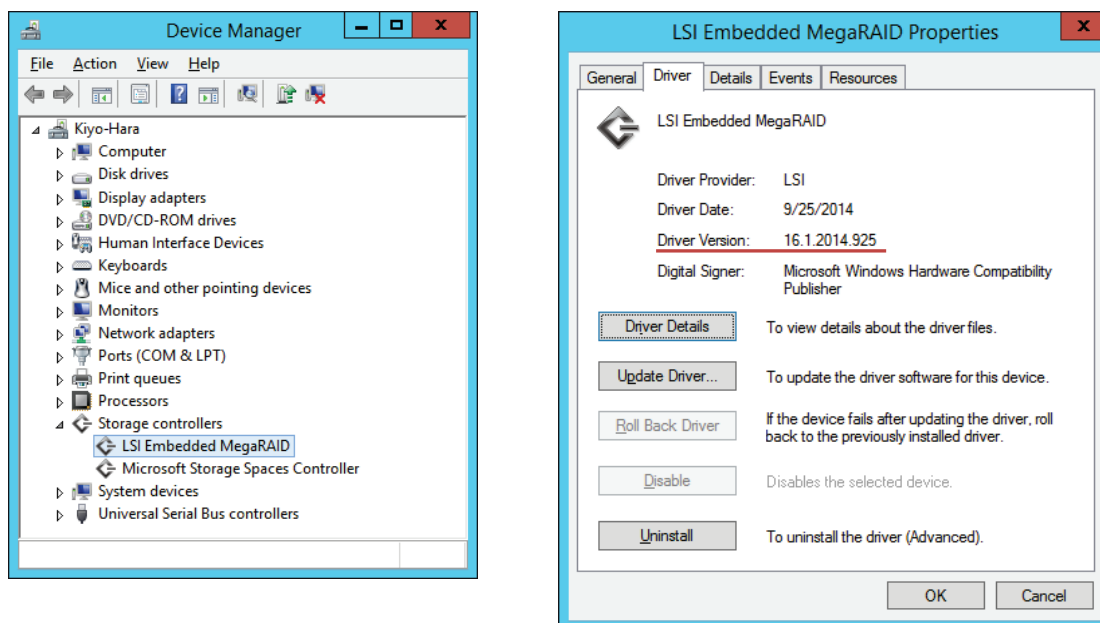
4. Do the installation process from the beginning again.

About "Endurance Remaining" of the SSD building RAID

If you want to know the "Endurance Remaining" of the SSD building RAID, update driver by the next procedure.

1. Confirmation method of the driver version

Start [Control panel]—[Device Manager] and choice "Storage controllers" – "LSI Embedded MegaRAID". Right-click and open property window. Choose a tab "driver" and confirm the driver version.



When the driver version is " **16.1.2014.925** ", you can not know the "Endurance Remaining" of the SSD building RAID.

2. Update Driver

For driver updates, download the driver from the following site.

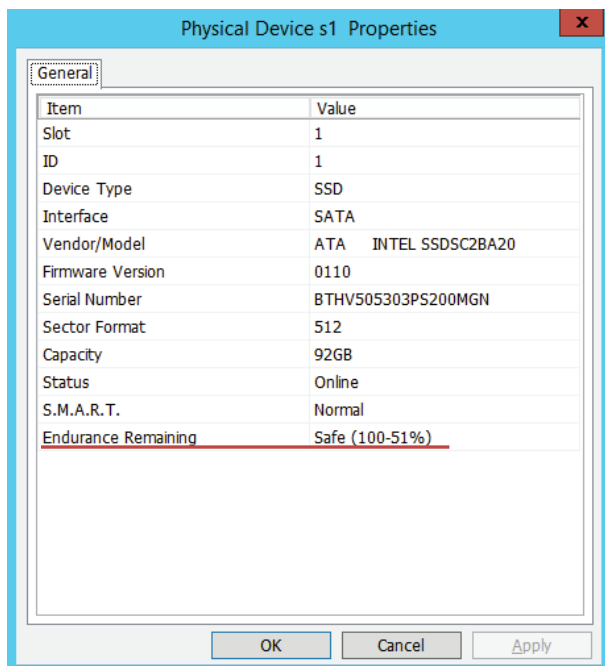
- Web access -

1. Access the NEC Express5800 Server Series download page.
[<http://www.nec.com/global/prod/express/download/index.html>]
2. Select [Server Blade] – [Express5800/B120g-h] – [Other Update].
3. Download "Express5800/R120g-2E/T120g/B120g-h LSI Embedded MegaRAID Driver".

3. Confirmation method of the Endurance Remaining

You can know the "Endurance Remaining" of the SSD building RAID by using "RAID Viewer of Universal RAID Utility" or "raidcmd (on command line)".

[RAID Viewer of Universal RAID Utility]



[raidcmd]

```
C:\Users\Administrator>raidcmd property -tg=pd -c=1 -p=s0
RAID Controller #1 Physical Device s0
Slot          : 0
ID            : 0
Device Type   : SSD
Interface     : SATA
Vendor/Model  : ATA    INTEL SSDSC2BX20
Firmware Version : 0140
Serial Number : BTHC5431020X200TGN
Sector Format  : 512
Capacity      : 185GB
Status        : Online
S.M.A.R.T.    : Normal
Endurance Remaining : Safe (100-51%)
```

When the driver version is "17.1.2016.216 " or later , you can know the "Endurance Remaining" of the SSD building RAID.

You read the user's guide of Universal RAID Utility, and find more detail.